

謹賀新年　～新しい年の初めに～

新しい年を迎える、地域の皆様、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

旧年中は、本校の教育活動を推進するにあたり、ご理解・ご支援を賜りましたことに心より御礼申し上げます。ありがとうございました。そして、本年も、どうぞよろしくお願ひいたします。

今年の干支は酉年です。「酉」の字を調べると、「にわとり」とは関係がなく、「酒を盛った器」や「酒つぼ、酒樽」と書かれており、酒を醸造する時の容器を描いた象形文字だと分かりました。だから、「酉（ひよみのとり、とりへん）」の付く漢字は、酒に関するものが多いということもうなづける話です。また、収穫した作物から酒を醸造するという意味や果実が収穫できる状態であることから「実る」も表しているのだそうです。それなのに、この「酉」の字を「にわとり」としたのは、みんなにわかりやすく知らせるために身近な動物の名前を当てたからなのだと思います。

ところで、この「酉」は西を表す方角の名でもあり、西京極の地域とかかわりの深い松尾大社には酒造の神が祀られています。このように考えますと、酉年と西京極は、案外、無関係ではないように思えてきませんか。酉年の今年は、果実が時を逃さず成熟して実りの時を迎えるように、大地にしっかりと根を張り、雨風にも負けず、じっくりと根気強く取組を進め、成果を明らかにしていきたいものです。

さて、学校では10日から後期の後半が始まります。4月に船出をした「西京極丸」の航海も残り少なくなってきました。時には荒波にもまれることもありましたが、それを乗り越え、一人一人に成長の跡が見えて頼もしく感じています。しかし、ここからが肝心です。どの学年も、一年間のまとめと次年度を迎える準備を行う大事な時期です。とりわけ、6年生は、小学校を卒業して中学生になるという一つの大きな節目を迎えようとしています。自分がこれからさらに大きな海へと舟を漕ぎ出していく大切な時期を迎えていることを一人一人が自覚して毎日を過ごしてほしいと思っています。私たち教職員は、すべての児童が「心やさしく 心身ともにたくましい子」になり、自分の夢に向かって主体的に励み成長するとともに、西京極小学校のよき伝統を創っていくことを願っています。

後になりましたが、年頭にあたり、子どもたち、地域の皆様、保護者の皆様にとって、本年がよい年でありますよう、祈念いたします。

校長 今村 ひろみ